

題材カード

1. 学年 第3学年

2. 「学習の方向性」から題材へ

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」

- 感じたことや想像したこと、見たことから表したいことを見付け、工夫して表す。
- 活動したことや表現したもののよさや面白さなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。
【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

題材名

光のもとのきらめきアニマル

～光を通すざいりょうと光のもとを組み合わせ、きらめきアニマルを元気にしよう～

題材目標

- 光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表すときの感覚や行為を通じて、形の感じ、色の感じ それらの組み合わせ方の感じが分かるようにするとともに、光を通す材料を切ってつないだり形を組み合わせたりして、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すようにする。
- 形や色、材料の組み合わせなどの感じを基に自分のイメージをもちながら、材料を組み合わせ方や光による見え方で感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか自分のイメージを基に考えられるようにするとともに、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ楽しさ、表し方について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げるようにする。
- 進んで光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうと共に、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにする。

題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表すときの感覚や行為を通して、形・色の感じの組み合わせによる感じなど理解している。 ・光を通す材料、接着する材料を適切に扱うと共に、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、材料の組み合わせなどの感じを基に自分のイメージをもちながら、組み合わせたものから感じたことや想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか自分のイメージを基に考えられるようにするとともに、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表す学習活動に取り組んでいる。

4. テーマに迫るために

研究主題	感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学習の創造 ～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～
部会テーマ	工夫して つくることを楽しむ子どもの姿を目指して

○出あいの工夫

導入では、児童たちの興味を示すような物語を映像で流し世界観に入り込めるようにする。見本を提示し材料の組み合わせ方や色の印象からどんな動物がつくれそうか全体で共有したり、児童一人ひとりが光をとおしたときの变化やおもしろさを考えたりする時間を確保しイメージをもち活動できるようにする。

○場の設定の工夫

掲示物などで活動の仕方が視覚的にわかるようにする。また、互いの作品が見られるようにし他の作品を見て発想を広げたり、相談したりする場になるよう4人1グループとして活動する。LEDライトの当たり具合を確認できるようにしておき試行錯誤しながら自分のイメージに合った作品をつくれるようにする。感染症対策を考慮した場で活動できるようにする。

○共感的支援の工夫

活動している際に作品を見合うことで、友達のつくっているものの楽しさや面白さに気付けるようにする。教師が一人ひとりに声をかけ、自分なりのこだわりや見てほしいところを聞き、共感したり価値づけたりすることで自信をもって楽しみながら活動できるようにする。

○小中一貫の視点

感じたことや想像したこと、見たことから表したいことを見付け工夫する力は中学校での〔共通事項〕の「光などの性質やそれらの感情にもたらす効果など理解すること」や材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって活動するとともに、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り創意工夫して造り出していくことに繋がっていくと考えられる。